

## ●CONTENTS●

1. MY VOICE
2. HOT LINE 就職最前線・平成8年度入試日程および試験会場・学生行事最前線
4. アメリカ追想（コンクール金賞受賞副賞旅行感想文）・保健室だより・クラブ活動
6. 平成7年度卒業研究テーマ一覧・研究活動について・「研究報告会」開催される
8. INFORMATION 奨学生決定・学位取得

1995.9.1 大同工大 DAIDO CAMPUS No.17

# キャンパス

編集 大同工業大学広報室 〒457 名古屋市南区滝春町10-3 TEL052-612-6117(直)



## ラス・アル・ハイマの発掘調査に参加して

高柳 伸一 [大学院建設工学専攻]



本年3月1日から3月30日までの一ヶ月間、アーヘン工科大学建築学部ミハエル・ヤンセン教授の考古学発掘チームがアラブ首長国連邦の首長国のひとつラス・アル・ハイマで行った発掘調査に、本学建設工学科五島研究室の一員として参加した。調査した遺跡は、標高約80メートルの急勾配の岩質の丘の頂上に建てられた約17世紀頃のものと思われるシェーバス・パレスという宮殿であった。この調査は中世アラビアン貿易港、ジュリファーの調査研究の一環として、ラス・アル・ハイマ政府から依頼されたもので、1990年から毎年3月に実施されてきており今回が最後の調査となった。この宮殿の正確な歴史はまだ解明できていないが、ラス・アル・ハイマ政府はこの宮殿を将来観光スポットにしたいと考えているようだ。

調査メンバーはアーヘン工科大学からヤンセン教授を含め5人、他のドイツの大学から2人、そして私の計8人であった。各メンバーは発掘調査、保存調査、壁調査、測量コンピューター・グラフィックの4つに別れて調査を行い、私はヤンセン先生の助手の一人と、壁の調査を担当した。

遺跡での調査は毎日行われ、午後の高温を避けるため朝7時から始め、午後2時に終えた。政府から派遣された10人前後の人達が常に私たちの作業を手伝ってくれた。その後は、滞在中の住居で調査結果の整理やミーティングを行い、夜の10時頃までかかることもしばしばだった。他のメンバーの調査に対する熱意には感心した。

今回の発掘調査で、実際に参加しなければ得られない貴重な調査方法や調査技術を多く学ぶことができた。また寝食を共にした一ヶ月間の協同調査で、チームの一員としての協調性の大切さや、計画された調査を皆ですることの喜びを身を持って体験することができた。



阪神・淡路大震災で  
学生ボランティア

## 行ってよかったです

とかく自分本意であるとか、社会の出来事に無関心であるなどと評価されがちな若者たちの行動が、このたびの震災で見直されています。本学においても例外でなく、先号でも被災地での体験談がレポートしていました。

今回は「4月26日(水)、ボランティアセンターに到着…」から始まる金子隆史(92E 050)君の報告から、彼の活動をピックアップしてみましょう。

『活動拠点に到着すると明日からの活動に備え、早速情報収集を行いました。それからの約2週間に及ぶ活動は、人手の足りない老人世帯の引っ越し作業の手伝いと、破損した屋根瓦の応急修理が主な仕事でした。引っ越しは避難所から完成した仮設住宅への荷物運搬、屋根の修理は屋根全体をビニールシートで覆う作業でした。他にも合間に縫うように食事の配給にも従事していました。この期間に数多くの人々との出会いがあり、はっきりしたことは分からなければ自分自身の考え方にも変化があったように思います。行って本当に良かった』と感想をもらっています。

## 平成7年度前期定期試験日程決まる！

試験期間	平成7年9月12日(火)～9月26日(火)	成績発表	平成7年10月3日(火)
------	-----------------------	------	--------------

なお、試験時間割の詳細については、大同工業大学学生NEWS「APPLES」の号外に掲載されます。



## 就職最前线

### 1. 就職は氷河期

民間の調査機関リクルートリサーチの調査によれば、来春卒業予定の大学生に対する企業の求人倍率は、男子で1.33倍（昨年は1.43倍）、女子で0.45倍（昨年は0.61倍）、

全体で1.08倍（昨年は1.2倍）と大変厳しい状況となっていることが判明しました。円高の進行等により、景気の回復が足踏み状態で、先行きの不透明感が一段と増していることから、多くの企業が採用を手控えています。全体の求人数はピーク時の平成2年度の2分の1、特に女子は、2人に1人しか就職ができないという、まさに超氷河期になっています。

### 2. 本学の求人状況・内定状況

本学における来春卒業予定の学部生687名のうち、627名が就職を希望しており、その差の60名は大学院への進学、自営その他となっています。求人状況は、厳しい経済環境を反映して求人社数で2,375社（8月4日現在）、昨年同期比で7%減となっています。採用内定率（8月4日現在）は全体で40%と昨年よりやや悪化しています。本年の特徴は、業種間で、好・不調の差が大きく、これが学科間の内容状況に反映しており、土木晴天（75%）、建築雲が多いながらも晴れ（60%）、機械雨（40%）、電気・応用電子どしゃぶり（20%）という、極めてバラツキの大きい空模様となっています。

一方、大学院生については、34名中31名が就職を希望し、うち50%が内定しています。本年の特徴としては、昨年からの傾向ですが、ペーパーテストが常識化してきたことです。従来、理工系ですと、大学の推薦があれば、面接試験で採否が決まるケースが多かったのですが、昨今、一般常識、適性検査、学科試験で基礎学力や適性をチェックし、面接を行うケースが増えてきました。一夜漬けの勉強ではとてもムリで、いかに日常の勉強が大切か、また、日ごろ時事問題や経済の動向（例えば、日米自動車交渉やP.L法など）に関心を持っているかが問われるようになりました。その意味で新聞を読む習慣をつけておきたいものです。

## 平成8年度 大同工業大学学生募集案内

### 1. 学部

#### (1) 募集定員

学科・専攻名	募集定員
機械工学科	195名
電気工学科	130名
建設工学科 土木工学専攻	80名
建設工学科 建築学専攻	80名
応用電子工学科	110名※

（注）※は平成8年度臨時定員増申請予定人数を含む

#### (2) 入試日程

種 別	出願期間	試 験 日	試 験 会 場	合否発表	入学手続 締 切 日
女子学生推薦入学試験	10.25(水) ～ 11.1(水)	11.12(日)	本 学	11.17(金)	12.1(金)
工業高校推薦入学試験					
推 薦 入 学 試 験	11.6(月) ～ 11.20(月)	12.3(日)  12.4(月)	本学・静岡・松本・金沢 大阪・広島・高松  本 学	12.11(月)	12.25(月)
大学入試センター試験 利 用 入 学 試 験		個別試験は、ありません。			
前 期 入 学 試 験 〔外国人留学生入試〕	1.9(火) ～ 1.22(月)	2.5(月) 機械・土木・応用電子  2.6(火) 電気・建築	本学・東京・静岡 松本・金沢・大阪 広島・高松	2.15(木)	入学金 2.23(金)  授業料等 3.22(金)
後 期 入 学 試 験 〔委託学生入試〕	2.19(月) ～ 2.29(木)	3.13(水)		3.19(火)	3.27(水)

（注）①外国人留学生入試の試験日は、「2月6日(火)」です ②出願受付は、締切日必着です。

### 2. 大学院 工学研究科

#### (1) 修士課程 募集定員および入試日程

専 攻 名	募集定員	出願種別	入試種別	出願期間	試験日	合格発表日 (本人宛通知)	入学手続 (締切日)
機 械 工 学 専 攻	8名	前期 募集	一 般 学 生	7.9.11(月) ～ 7.9.18(月)	7.9.29(金)	7.10.4(水)	7.10.12(木)
電 気・電 子 工 学 専 攻	12名	後期 募集	一 般 学 生 社会人学生 外国人留学生	8.2.12(月) ～ 8.2.19(月)	8.2.28(水)	8.3.5(火)	8.3.22(金)
建 設 工 学 専 攻	8名						

#### (2) 博士課程 募集定員および入試日程

専 攻 名	募集 定員	出願 種別	入試種別	出願期間	試 験 日	合格発表	入学手續期間
材料・環境 工学専攻	3名	前期 募集	一 般 学 生 社会人学生 外国人留学生	7.9.11(月) ～ 7.9.18(月)	7.9.28(木)	7.10.4(水)	7.10.6(金) ～ 7.10.12(木)

後期 募集	8.2.12(月) ～ 8.2.19(月)	8.2.27(火)	8.3.5(火)	8.3.7(木) ～ 8.3.22(金)
----------	-----------------------------	-----------	----------	----------------------------

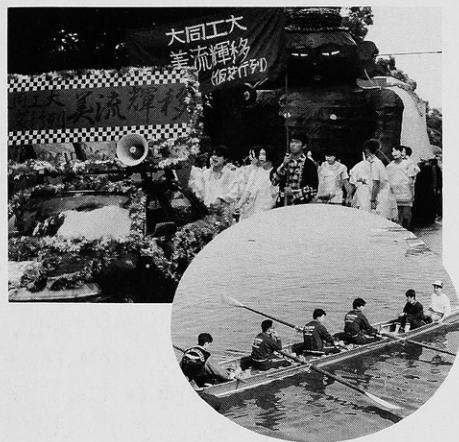
### 3. 就職指導のスケジュール

就職指導は、3年生後期からスタートします。来年度の就職指導スケジュールは今後検討しますが、本年度で申しますと、3年後期にはガイダンスを2回実施し、当年度の就職状況の説明、進路状況のアンケート調査、一般常識テストや適性検査を行い、4年生になるとすぐ、2回のガイダンスにより、進路の最終調査、具体的な手続等を経て、5月連休明けから就職活動が具体化しました。3年生の諸君は、いまから自分の進路（大学院への進学も含め）を考えていきたいと思います。

# 学生行事最前线

## 学生行事参加のお誘い

大学祭は盛況のうち5月に終了しましたが、これからも楽しい行事が目白押し。詳しい応募方法は開催前に学生掲示等でお知らせします。まずは以下の内容をよく読んで、手帳に参加予定を立てておきましょう。



## ■体育大会

10月20日(金)・21日(土)に開催。例年、滝春グラウンドや体育館でソフトボールやバレーボール、サッカーで良い汗を流します。AAセミナーや卒研、有志でグループを作って豪華賞品(?)を目指しましょう。

## ■学内レガッタ大会

11月19日(日)に開催。中川区の庄内川ボートコースで繰り広げるこのボート大会は、5人一組で参加して下さい。本学学生、教職員のみならず、OBやOGも顔を出し

ます。気の合う者同志で汗を流し、将来の話、むかしの話で盛り上がる…そんな日曜のひとときをここで過ごせば、「大同に来てヨカッタ」と感じてもらえるはずです。

## ■スキースクール

1月4日(木)から9日(火)に開催。雪質満点の志賀高原でレッスンを受けます。一般的のスキーツアーに比べて参加費がお値打ちです。また、個人では取得の難しいSAJ(日本スキー連盟)のバッジテストにチャレンジでき、合格すれば資格を取得することができます。もちろん、レッスンばかりでなく連日のフリータイムが皆さんをスキーのとりこにするはずです。



# 燎は消えず

師を語る 中山忠巳先生のこと

名倉満雄  
66E037



25年を経た今、学生時代を振り返る時、きまつて友と恩師中山先生の顔が、重なりながら浮かんでくる。卒業以来何かにつけて、学園生活で得た内面的な物の繋がりや、吸引力の大きさを思うときがしばしばある。中山先生は昭和54年に61歳で早逝された。返すがえず残念なことであった。天寿を全うされるまで、師として、友人としての交流を深めることができたであろうに。

当時、大学にはカラコン室という、電気工学科には似つかわしくない(?)中山先生の研究室があった。塗料の調合、電気接点、電子ビーム、微粒子、星光の研究など、一見、何の関連もないようなテーマを扱い、一種独特な雰囲気があった。ケベルカムンク(KM)理論などと言う怪しげな学説が研究され、このテーマには関係しなかったが、未だにこの言葉が脳に焼き付いて離れない。大学に来て初めて、学問的な臭いを感じた言葉で、憧れに近い念を感じたものだった。

私は3年生頃からカラコン室にいりびたるようになった。アカデミックな臭いと、先生方や先輩諸氏との交わりが嬉しくてたまらなかった。研究室に入りするごとにステータスを感じたし、何より中山先生を中心とした研究室の家族的な雰囲気が心地よかった。

卒論追い上げ時期には10人位がカラコン室に泊まり込み、一生懸命論文書きに励んだものであった。時には息抜きも必要と、中山先生の部屋からウイスキーを拝借し酒宴を催したり、花札にも興じたものであった。巡回のガードマンは「異常ありません、ご苦労様!」で丸くおさめたのだが、遂にはさすがに仏様のような中山先生も業を煮やし、我々に一喝をくださったものだった。しかし、その目は慈愛に満ちて優しく笑っていた。

何度か飲みに連れて行ってもらえたし、先生の狭いアパートに皆で押しかけ、忘年会や、新年会を催してはご家族とも飲んで騒いだものだった。卒業式当日も大変であった。式後、どこをどうさまよい歩いたのか記憶にないが、気がつくと中山先生宅の布団の中、3級下の西山君まで一緒であった。

しみじみと学園生活が思いだされ、感傷にひとり枕を濡らしたことであった。中山先生は真に私の師、友、そして生涯忘れることのできない恩人である。

先生のこころざしは、今も燎会として受け継がれている。学園を照らす暖炉として火を絶やさぬことを願う。又、先生方、在学生諸氏も胸襟を開き暖かい学園を築いて頂くことを切に願う。

同窓会だより

# アメリカ追想

## 未知の世界への旅立ち

深田敦子（三重高校2年）

DIT'S30国際コンセプトコンクール

入賞者（高校生論文の部）

金賞副賞のアメリカ旅行 感想文



## —母国語でない言葉を話すよろこび—

今でも目を閉じると、私の目の前に、あの広大なアメリカの大地が広がります。そして耳を澄ませば、ホストファミリーの声が聞こえてくるのです。

アメリカでの6日間。それは私にとって驚き、喜びの連続でした。“私はアメリカにいるんだ”。そう思うたびに私の心はふるえました。日本では何でもない日常が、すべて新鮮で輝いていたのです。花の名も、虫の名も、動物の名も、私にはほとんど分かりません。

「これは何?」「何という名前なの?」「どうして?」……。そうたずねることが楽しい。名前を知ることが嬉しい。こんな喜びを日本で感じていたのは、一体いつのことでしょうか。ただ歩くだけで楽しい。ただ見るだけで楽しい。アメリカに、今、いる!アメリカでの私は心の底から生きていました。

もう一つ、私の見つけた喜びがあります。それは“英語でコミュニケーションをする

こと”。その楽しさといったら、ワクワクしどおしの気持ちといったら、何に例えられるものでもありません。日本語でなく英語で話す。確かに英語しか使えない生活は大変でした。ゆっくりと簡単な英語で話してもらわないと理解できない。そして自分の言いたいことも語彙不足と発音のまづさのために通じないこともしばしば。しかし、そんなことはどうでもよいことでした。英語を話している! 英語を聞いている! 英語の中にいるんだ! 私の胸はおどりつづけていました。言葉の喜び。母国語でない言葉を話す喜び。それは自分の世界を広げる喜びなのです。未知の世界へと踏み出してゆく喜びなのです。

アメリカへの旅。それは私が想像していた以上に素晴らしいものでした。そして私は今改めて感謝しています。私にアメリカへの切符を与えてくれた人、私が会った人、すべての人に。

# 保健室だより

## 定期健康診断結果報告

4月に実施した定期健康診断の受診状況結果がでました。下の表の通りです。

入学年度	95	94	93	92	過年度修士	博士	計
尿検査	受診者数	750	712	688	685	42	78
	再検者数	40	24	35	21	5	12
	再検率	5.3	3.4	5.1	3.1	11.9	15.4
血圧測定	受診者数	750	712	690	685	42	78
	再検者数	32	34	20	19	4	6
	再検率	4.3	4.8	2.9	2.8	9.5	7.7
胸部X線間接撮影	受診者数	749	711	690	685	42	78
	再検者数	2	2	7	0	1	0
	再検率	0.3	0.3	1.0	0.0	2.4	0.0
心電図検査 (1年次および運動クラブ所属学生)	受診者数	746	80	63	60	3	78
	再検者数	9	0	0	0	1	0
	再検率	1.2	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
聴力検査	受診者数	749	/	/	681	41	78
	再検者数	28	/	/	21	2	5
	再検率	3.7	/	/	3.1	4.9	6.4

## —成人病のはじまりに注意—

再検査の結果を見て感じたことは、血圧の高い学生さんがかなりいるということです。高血圧の人の90%以上が本態性高血圧（ある病気を原因とする高血圧以外のもの）であるといわれ、その要因としては、“遺伝因子” “不適切な食事” “飲酒” “喫煙” “ストレス” “肥満” “運動不足” などが考えられます。そのなかでも特に、食事と健康との結びつきは強く、エネルギーや脂肪分、糖分の摂りすぎが、高血圧をはじめ動脈硬化、心臓病、ガン、脳卒中など成人病の始まりになります。

成人病はいずれも、食事の管理が悪かったり、運動不足であったり、休養が足りなかったという生活習慣と深い関係があるということです。成人病のほとんどは最初のうちは自覚症状がなく、知らぬ間にじわじわと進行していきます。気がついたら手遅れだったという事にもなりかねません。『まだ若いから』と思わずには、今から少しでも気をつけてみませんか?



## 食生活調査説明会

また、定期健康診断で同時に実施した、食生活状況調査の結果については、9月6日(水)、7日(木)に説明会を行います。2日間のうち都合の良い日にぜひ参加して下さい。お待ちしています。

# クラブ活動報告



『ATTENTION PLEASE (学生便覧)』の34ページを開いてみましょう。そこには「もうひとつの学生生活」と銘打って、8ページにわたって各クラブの紹介記事がつづられています。本学には文化系・運動系合わせて30余りのクラブがあり、それぞれが活動趣旨に基づいて自主的な活動を行っています。

クラブ活動は一つの目標を持った組織ですから、そのなかで活動することは実行力やチームワークを必然的に養うことになります。それが将来社会人として活躍する皆さんにとって非常に有効であることは言うまでもありません。

ここに活躍する彼らのなかから、今年度前半に目立ったものをピックアップします。

まだクラブに入らないで時間を持て余している人、入学したものの、やりたいことが見つからずに悩んでいる人は、ぜひ部室のドアをたたいてみてください。

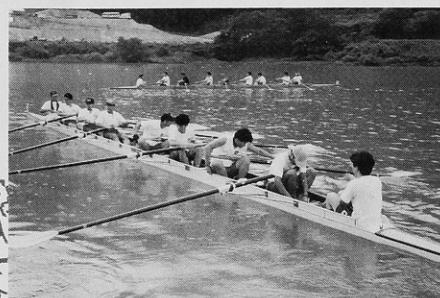


## 漕艇部

### 中日本レガッタで4位

本学で最も古い歴史を持つクラブの一つ、漕艇部(93M013)伊佐治建宏部長)が6月2日から4日にかけて愛知池で開催された中日本レガッタ大会でクオドルブル部門で第4位の成績を収めました。

クオドルブルとは1艘の艇に2人のオールを持った4人が乗り、速さを競うもので



## バレーボール部

### 東海地区春季リーグ戦で3部優勝2部昇格

本学バレーボール部(93M098下里城児部長)が標記大会において、名古屋工業大、南山大、中部大などを下し、3部優勝を成し遂げました。

さっそく、大学祭たけなわの5月21日、名古屋学院大学において2部最下位の三重大学と対戦して勝利を飾り、2部への昇格を果しました。めざすはもちろん、2部での優勝、そして学生バレーボール界の頂点に立つことです。



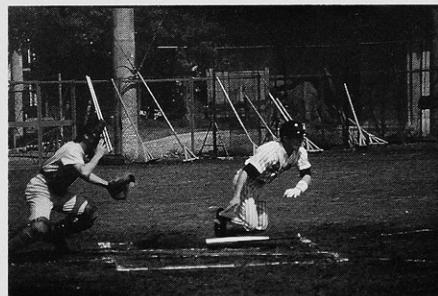
## 硬式野球部

### 愛知大学野球春季リーグ戦で4部優勝

硬式野球部の特徴を挙げるならば、次の3つが思い当たるでしょう。

1つは先輩後輩の分け隔てがないこと。もう1つはメンバー全員が「野球をやってよかった」と思っていること。最後の1つは傑出した個人プレーではないけれども、全員参加の野球でベストをつくすことです。

そんな同部(93C002青山裕泰部長)が標記大会において優勝をはたしました。部員さんに「勝利の秘訣は?」と尋ねたところ、「監督の采配の良さに尽きます」との返答でした。



## 自動車部

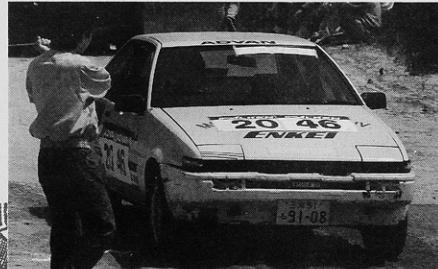
### ダートトライアル2位、ジムカーナ優勝

自動車部(93M138戸村力部長)が次のとおり快挙を成し遂げました。

#### 〈ダートトライアル編〉

4月30日に三重県松阪市にて開催、中部地区で団体2位の成績を収めました。

ダートトライアルとは舗装されていない路面で行われるタイムトライアルのことで、コース途中におかれたパイロンを倒さずに一番速いタイムでゴールした者が勝ちという一見して単純ではあるけれども実は非常



に奥の深い競技です。本学からは村瀬撤時(92M216)君をリーダーとする4人がエンタリーしています。

#### 〈ジムカーナ編〉

6月11日に同県津市にて開催、中部地区で団体優勝しました。

ダートトライアルとの違いは、競技が舗装面で行われることです。コース取りなどでダートトライアルとは違った意味で、ドライバーにシビアであるこの競技に水落年宏(92M207)君をリーダーとする4人が出場して栄光を飾りました。



# 平成7年度 卒業研究テーマ一覧

本学の先生達がどのような研究を行っているかは興味深いことであり、特に3年生にとっては、卒研を行う研究室（指導教員）の選択は、大いに関心が高いことと思われます。

そこで、本紙では、各学科の指導教員の

先生達の主な卒業研究テーマを載せることにしました。今回は機械工学科と電気工学科・応用電子工学科の学内の卒研テーマを掲載しました。この他に、一般教養の先生方や、工業技術院名古屋工業技術研究所、名古屋市工業研究所、（財）日本ファイン

セラミックスセンター、大同特殊鋼・研究所などの研究設備の整ったところでマンツーマンで指導してもらえる卒業研究を選択することも可能です。建設工学科は次回（1月号）に掲載しますのでご期待ください。

## ◆ 機 械 工 学 科 ◆

指導教員	主 な 研 究 課 題 テ ー マ
清家政一郎	鋼およびニッケル箔ひずみ計に関する基礎的研究
杉浦 正勝	異種材料接合界面における弹性波伝ば挙動の基礎的研究、画像処理によるモアレ干渉法の基礎的研究
和田 均	S45Cの動的破壊靭性に対する負荷速度依存性、混合モードき裂の動的破壊試験法、音弹性応力測定法に関する基礎的研究
加藤 容三	Ti-6Al-4V合金欠陥材の高温疲労強度に及ぼすショットピーニングの影響
高藤新三郎	オーステンパ処理球状黒鉛鉄の疲労強度に及ぼす限界欠陥寸法、アルミニウム合金鉄物の疲労強度に及ぼす欠陥の影響
近藤 巖	フライス専用機の設計、タッピング専用機の設計、ドリリング専用機の設計、ボーリング専用機の設計
葛原 定郎	平行2平板内の放射流れの解析、3次元物体の流体抵抗係数の測定、熱線検定用小形風洞の設計と製作、油圧機器に関する文献調査
山田 廣也	平行平板に衝突する噴流の乱流統計量、タービン翼列の冷却流に関する研究、鈍頭物体後流場の可視化と乱れ計測
市川 武久	平行回転2円板（流れの可視化による観察実験、コンピュータシミュレーション）、平行2円板（熱線流速計による計測実験）
中村 肇	スリットからの衝撃噴流による回転円筒体上の熱伝達、水平2平板形潜熱蓄熱システムの研究、空調用プロセスシステムの開発
松浦 章裕	気泡塔内乱流気液2相流の数値解析、LVDによる循環を伴う気液2相流の速度分布の測定、速度分布測定用3次元トラバーサの開発
伊藤 昇一	メタンガス代替燃料によるエンジン性能についての研究、対向流バーナによるよどみ領域における予混合火炎の火炎特性の研究
西堀 賢司	磁性流体アクチュエータの開発、超音波モータを指に持つを用いたロボットハンド、超音波モータを用いたロボットアームの制御
大嶋 和彦	超音波モータを用いたロボットアームの制御、マイクロ超音波モータの駆動解析
細井 祐三	MA-ODS合金の高温の力学特性、MA-ODS合金の二次再結晶挙動、Cr節約型ステンレス鋼の耐食性合金設計、Fe-Cr-Al合金の高温酸化
星野 克英	合金鋼の摩擦圧接に関する研究、超音波深傷の簡易自動化の研究、鉄による軟鋼の鍛ぐるみに関する研究、消失模型用塗型剤の改良
青山 正治	Ni及びMo添加鍛造し材の質量効果特性、オーステンパ球状黒鉛鉄の疲労特性と破壊靭性、衝撃試験の計測データ処理システムの構築
小野 宗憲	アルミニウム合金の鋳造・鍛造プロセス、アルミニウム合金の複合押出し、難削材の被削性、ウィスカ強化AI基複合材料の強度特性
中島 浩衛	薄板材料のフランジ成形性と成形精度、中厚鋼板圧延の形状特性
小森 和武	引抜き加工時の内部割れの実験的研究、せん断加工時の破壊過程の実験的研究
酒井 義文	超高温耐酸化材料に関する研究、複合材料に関する研究、機能材料に関する研究
糸見 和信 (兼田喜代志)	誘導電動機の固有振動数の解析、パーソフィーダーの振動挙動、衝撃力応用電動工具の動特性、Helmholz方程式の固有解析 ハイブリット型動吸振器の数値解析

## ◆ 電 气 工 学 科 ・ 応 用 電 子 工 学 科 ◆

指導教員	主 な 研 究 課 題 テ ー マ
佐橋 稔雄	オペ・アンプの製作、恒温槽の製作、光調器の製作、ログ・メーターの製作
加藤 哲男	メカニカルグラインディングによる布土類磁石の硬質磁気特性、FeCr系磁石合金の交流磁気特性（熱処理による変化など）
近藤芳孝・山田忠比古	ホローカソード放電による乾式洗浄装置の開発、材料プロセス用負イオン源の製作、オゾンの基礎研究
日置 義明	微粒子-プラズマ相互作用、プラズマ表面相互作用、高温超伝導体の作製、高温超伝導体の電気特性
高田 和之	作業時の姿勢変化による心拍変動に関する研究、循環系心機能のインパルス応答
中井 靖男	原子を探すトンネル針の製作、試料を動かすステッピング・モーターの製作、防震機構の製作
大石 弥幸	人の音色の知覚に関する研究、楽器の音色の分析、道路交通騒音／住環境騒音の分析
神本 勝巳	3相誘導電動機の特性、PWMインバータで運転される3相誘導電動機の特性、3相誘導電動機の特性計算
愛知 久史	接触形態から接触子の接触抵抗現象の解析、大電流開閉器における接触抵抗現象の基礎的研究
西村 政信	有彩色ルーバ照明の計算法、昼光と日射データの収集およびデータ解析、照明・色彩環境の解析
茂吉 雅典	学習時の生体情報、心拍時系列解析、心循環系のインパルス応答
三栗谷信夫、和田隆夫、藤本 博	太陽電池の特性および応用に関する研究、cds光伝導セルの特性および応用
稻垣 米一	植物生体電位（DC分）、植物生体電位（AC分）、人工植物、電磁環境の調査
宇野 正美	パルス伸長回路のランプ応答、負性インピーダンス変換器を用いるセラミック振動子の駆動法
美濱 和弘	機能性薄膜の作製と評価、薄膜の電気抵抗、ガス蒸発法による微粒子の作製
岩間三郎、早川謙二	RHEED法による薄膜成長のその場観察、RFスパッタ法による複合膜の作製と評価、FGE法によるナノ粒子の作製と評価
三品 善昭	日常環境騒音に関する研究
金児 壮至	電子サイクロトロン共鳴(ECR)を利用した高密度プラズマの作成、ECR現象を利用した電子加速実験

指導教員	主な研究課題テーマ
横井 裕浩	スイッチドキャパシタ方式データ変換器の製作
神保 瞳子	磁性薄膜の作製と評価
市古 忠利	セラミック、ハニカム多孔体の開発
鳥野 壽章	オブジェクト指向言語によるプログラムの開発
(佐々木秀太)	日本をとりまく経済問題
(松浦 均)	自動車交通における「安全・危険」に関する態度構造の測定及び態度構造と運転行動の関係
(水野 義雄)	感覚刺激がヒトの脳波に与える影響

## 研究活動について

大学は教育とならんで研究活動がその生命です。本学の教員も活発な研究活動を展

開しています。その活動は多様で、全体を示すことはなかなか難しいのですが、そ

### 【研究助成金】

財団	研究者	助成金額	研究テーマ
内藤科学技術振興財団	山田忠比古講師	70万円	不安定状態にある分子を多数含む気体の電子スオーム・パラメーターの計測
市原国際奨学財団	山本俊彦教授	50	柱鉄筋コンクリート造、梁鉄骨造の混合構造接合部のせん断耐力変形性能に関する研究

### 【受託研究】

研究担当者	受託研究費	研究テーマ
加藤哲男教授	72万円	各種軟質磁性材料の磁気シールド特性について
稻垣米一教授	120	誘電体超薄膜の電子物性に関する研究
山本俊彦教授	100	鉄筋コンクリート造梁の断耐力に関する研究
桑山 忠教授	100	薄層鋼織維コンクリートの施工厚さと締固め方法に関する効果の基礎的研究
和田隆夫教授	100	半導体および金属の超拡散
神保瞳子講師	200	GMR素子の開発
細井祐三教授	80	超高温MA・ODS合金の合金設計
小野宗憲教授	30	熱感ダイス鋼のグリープ・疲労組み合わせ強度
小森和武助教授	70	せん断加工における延性破壊現象の解明
金児壯至教授	70	マイクロ波による熱プラズマの生成に関する研究
加藤容三教授	60	Ti合金の長寿命域における疲労強度評価
西堀賢司教授	90	超音波を用いたロボットアームの制御
杉浦正勝教授	100	異種機材接合界面における応力挙動の実験的研究
和田 均教授	80	混合モード亀裂の動的破壊試験に関する実験
中村 肇教授	50	MOCVD装置を対象とした平行2円板間内移動現象
市古忠利助教授	70	アパタイト／チタン系複合インプラント材料の開発

の一端を示す資料をこれから本紙でお知らせしてゆきたいと思います。

今回は、次の3つの情報をお知らせします。

【研究助成金】 学外の民間団体などからの研究助成金です。大学に募集があり、研究者が応募し、審査されます。全国の研究者が応募するので、採用されるのはなかなか大変です。

【受託研究】 企業等から研究の委託を受けたものです。

【奨学寄付金】 企業等から研究活動への寄付です。

いずれも各表は、4月から6月末までに受け付けたものです。

### 【奨学寄付金】

寄付の主旨	寄付金額
鳥野壽章助教授研究助成	5万円
公開講演会の助成	10
公開講演会の助成	10
公開講演会の助成	10
神保瞳子講師研究助成	100
小野宗憲教授研究助成	50
神保瞳子講師研究助成 ※	100

※磁気ヘッド用G-MR素子の研究に対して

## 研究報告会開催される

7月7日、学内の研究報告会が大同校舎9号館の9403講義室で開催されました。合計13件の報告があり、教員・大学院生が聴講し、活発な質疑応答が行われました。

(報告者と報告テーマ)

■笠嶋 泰助教授 [現代住宅の部屋配置と子供の就寝分離時期]

■青山正治助教授 [高強度・高じん性オーステンバ球状黒鉛鋳鉄の開発に関する研究]

■山田忠比古講師 [ホローカソード放電による機械部品の洗浄]

■岩間三郎教授 [RHEED法によるメソスコピック粒子及び薄膜形成の“その場観察”]

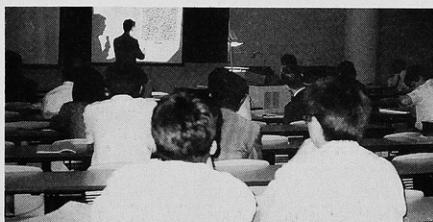
■岩間三郎教授・日置義明教授 [高温超伝導体の高純度化とその物性に関する研究]

■大石弥幸助教授 [都市環境騒音における瞬時レベルの分布と評価量に関する研究]

■藤本 博講師 [Zn-Cd-S系薄膜への窒素のドーピング]

■美濱和弘教授 [ナノ複合粒子の形成過程とその評価]

■茂吉雅典講師 [長時間運転時の生体負担度評価(高速道運転時の心拍変動を基に)]

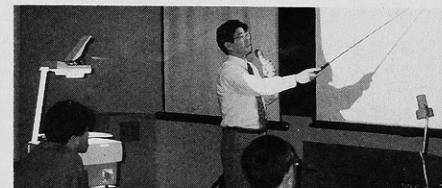


■事口壽男教授 [き裂の発生機構と腐食疲労について]

■水澤富作教授 [積層複合シェルの振動特性と衝撃弾塑性応答解析]

■佐藤達生助教授 [建築史分野における写真測量の応用—ハギア・ソフィア大聖堂の調査を中心として—]

■瀬尾文彰教授 [社会資本型人工土地による都市居住環境の改善]





# INFORMATION

## 学内特別・一般 奨学生が決定

学業・人物・健康等に優れた学生に対する奨学生が今年度は別表の皆さんに支給されることが決定し、さる5月30日に学長臨席のもと、奨学生一人ひとりに通知書が手渡されました。

特別奨学生は年間の授業料相当額が、一般奨学生は年間の授業料の4割に相当する金額が支給されます。今年度の頑張りによっては次の年度への継続がもちろん可能です。奨学生に選ばれなかった皆さんについても同様に、次の選考に向けて絶え間ない努力を心がけることを期待します。

### ◆特別奨学生

- ・92M横井秀昌〔知多東高校〕・93M上田佳史〔安城東高校〕・94M尾関由仁〔江南高校〕・95M北野照子〔虎姫高校〕
- ・92E小林義徳〔野沢北高校〕・93E森川繁幸〔桑名北高校〕・94E假屋憲〔向陽高校〕・95E勝又和良〔恵那高校〕・93C加藤正幸〔高蔵寺高校〕・94C馬場公志〔一宮北高校〕・95C池田久美子〔豊丘高校〕・92A小久保亜紀〔宇治山田高校〕・93A竹下和裕〔神戸高校〕・94A尾西弘子〔星林高校〕・95A伊藤綾子〔御津高校〕・92D杉原信〔瀬戸北高校〕・93D都築則彰〔岡崎西高校〕・94D清水敏弘〔各務原高校〕・95D日比和彦〔御津高校〕

### ◆一般奨学生

- 92M井上登美子〔犬山高校〕・92M斎藤雅広〔浜松湖南高校〕・93M浅井健史〔蟹江高校〕・93M藤田昌弘〔浜松南高校〕・94M伊藤健太〔三重高校〕・94M久保哲〔鹿西高校〕・92E山田朋宏〔南陽高校〕・93E畠直樹〔水見高校〕・94E上田智也〔入善高校〕・92C竹田哲弘〔瀬戸西高校〕・93C大日方政信〔大町高校〕・94C渡部和彦〔伊那弥生ヶ丘高校〕・92A坂井美保〔長良高校〕・93A浅井里佳〔多治見北高校〕・94A楠瀬澄子〔小津高校〕・92D平尾博幸〔鳴海高校〕・93D脇田正幸〔羽島北高校〕・94D大津弘一郎〔春日井西高校〕

## 大幸財団奨学生に 学生2名が決定

時代に対応する優秀な人材を育てるための大幸財団育英奨学生ならびに優れた若手研究者の独創的な研究を助成するための同財団学芸奨励生に下記の学部生、大学院生が採用されました。

育英奨学生：鈴木崇宏（94M113）

学芸奨励生：安達 崇（95MM01）

## 学位取得

おめでとうございます

稻垣卓造助教授（建設工学科建築学専攻）



平成7年1月31日付  
で東京工業大学から博士  
(工学)の学位を取得  
論文「景観整備を目的  
とした都市の色彩評価  
に関する研究」

今井英夫教授（数学教室）



平成7年3月25日付  
で金沢大学から博士  
(理学)の学位を取得  
論文「Picard (ピカール)  
次元の非齊次性について」

## 人事

### ◇新任◇

（平成7.4.1付）●嘱託職員・吉原勝巳（就職指導部）・日高美鈴（経理部）・坂本猛（図書課）・長谷川みや子（図書課）・早川昌秋（電気工学科）・荒川武（電気工学科）・湊栄一（建設工学科）・平野誠一（工作実験実習室）●臨時補助員・小林秀樹（機械工学科）・金丸秀一（機械工学科）・藤田幸也（物理教室）・平沼檀（建設工学科）・北村也寸志（建設工学科）（平成7.7.1付）●総務部長・小野二朗

### ◇昇任◇

（平成7.4.1付）●企画室次長兼企画調査課長・武田洋二（企画室企画調査課長兼学務部学務課長）

●生涯学習センター事務室長兼教務課主査・不破敏雄（教務課主査（課長待遇）兼生涯学習センター事務室主査）

### ◇異動◇

（平成7.4.1付）●本部事務局長・大江哲也（本部事務局長兼大学事務局長）●材料科学技術研究所・山森哲夫（機械工学科）●企画室企画調査課兼学務部学務課・天池公一（教務課）●総務部庶務課・桜井美智子（高校図書館）●総務部庶務課・上田賢幸（高校事務部）●総務部庶務課（書記）・足立房枝（総務部庶務課）

技師）●総務部庶務課・柴田忠市（高校事務部）●総務部人事課・水野伸哉（就職指導課）●教務部教務課長兼生涯学習センター事務室主査・柳楽杏一（教務課長兼生涯学習センター事務室長）●教務課・片岡智幸（図書課）●機械工学科嘱託職員・澤田重夫（工作実験実習室嘱託職員）●情報処理センター兼総務部事務システム課・小林吉盛（情報処理センター事務室兼総務部事務システム課）（平成7.7.1付）●就職指導部次長（部長待遇）兼就職指導課長・信耕四郎（総務部長）●総務部次長（部長待遇）兼庶務課長・大竹辰也（就職指導部次長兼就職指導課長）

◇交替◇

（平成7.4.1付）（前任者）●国際交流センター長・杉浦正勝教授（福原意玄教授）

●国際交流センターチーム長・酒井陽一助教授（杉浦正勝教授）

## 事務職員の交換研修

かねてより事務職員の研修のあり方にについて種々検討しておりますが、その一つとして、他大学との交換研修をすることになり、このたび名城大学と合意に達しました。このような研修は初めての事でありますが、双方の大学にとって効果があることを期待しております。

### 1、研修期間

平成7年4月1日～平成8年3月31日

### 2、本学からの研修職員

氏 名：水野伸哉

研修場所：名城大学事務局総務部

（庶務課）

### 3、名城大学からの研修職員

氏 名：小戸森尚人（昭和35.3.6生）

学歴：名城大学法医学部法医学卒業  
主な勤務歴：昭和57年4月 名城大

学採用 大学事務局人事課、

学生部厚生課、商学部第一部、大学事務局付

研修場所：本学事務局総務部庶務課



## 編集後記

この号から「大同工大キャンパス」はタブロイド判からA4判へと装いも新たに発行することになりました。

皆さんの感想、ご意見をお寄せ下さい。